

内科専門研修プログラム

サブスペシャリティ重点コース / 脳神経内科コース

(1) コースの全体像

脳神経内科の対象は、脳卒中、認知症、パーキンソン病、てんかん、頭痛、脳炎・髄膜炎などの common disease から筋萎縮性側索硬化症をはじめとする神経難病や遺伝性難病まで多岐にわたり、神経系の症状でファーストコンタクトをとる科として、高齢化社会の中でニーズがますます高まっている。かつて神経内科には診断学はあるが治療法はないとされていた時期が長く続いていたが、脳血管障害や神経免疫疾患、一部の遺伝性疾患については画期的なデバイスや新薬が開発された結果、治療可能な疾患になっている。認知症やパーキンソン病をはじめとする変性疾患についても病態の解明が進み、根本治療の開発が視野に入ってきている。脳神経内科は的確な診断が治療に直結する診療科であり、当科のサブスペシャリティ重点コースではまずはすべての神経疾患に適用できる診断学を研修する。最初の3～4年間は内科専門医と神経内科専門医の取得をめざして内科専門プログラムによる研修を行いながら頭痛、脳卒中、パーキンソン病といった common disease から稀な疾患まで、また神経救急から難病の慢性期医療・呼吸などの全身管理、リハビリテーションなど幅広く経験する。プログラムは日本神経学会の卒後研修到達目標に準じ「臨床神経全領域をカバーできる神経内科医の育成」をめざす。大学での後期専門研修と関連病院群を適宜ローテートする。さらに、脳卒中、リハビリテーション、臨床神経生理、臨床遺伝など診療に関連した各サブスペシャリティの専門医の取得も視野に入れる。適切な時期からサブコースに分かれ、各サブスペシャリティの臨床経験を行う。医療機関、サブコースの選択は研修者の希望に応じるよう配慮する。また神経疾患にはまだ原因不明なものや根本的な治療がないものが数多くあり、当科のサブスペシャリティ重点コースでは希望に応じて3年目から大学院博士課程に入学して基礎・臨床研究を行うことも可能である。

大阪大学医学部附属病院 脳神経内科における専門研修



(2) コースの概要

大学病院・医療機関名	診療科名	専門分野名	指導者数	目 的	受入人数	期 間
大阪大学医学部附属病院	脳神経内科	神経内科一般 脳卒中、 リハビリ、 てんかん	9名	脳卒中を含む神経疾患 の高度の専門的知識、 診断技術の習得	2～5 名	1～2 年
大阪大学関連病院 大阪急性期総合医療センター、 大阪医療センター、大阪南医療 センター、大阪刀根山医療セン ター、JCHO 大阪病院、JCHO 星 ヶ丘医療センター、多根総合医 療院、市立豊中病院、市立東大 阪医療センター、市立吹田市民 病院、市立池田病院、市立芦屋 病院、堺市立総合医療センター、箕 面市立病院、大手前病院、関西 ろうさい病院、大阪けいさつ病 院、大阪ろうさい病院、森之宮 病院、岸和田徳洲会病院、淀川 キリスト教病院、県立西宮病 院（兵庫県立西宮総合医療セン ター）	神経内科 脳神経内科 脳神経・脳卒 中内科 脳卒中・脳神 経内科 など	神経内科一般 脳卒中 リハビリ 臨床神経生理 臨床遺伝 てんかん	2～5名	・脳卒中を含む急性期 神経疾患および神経 難病など慢性期神経 疾患の治療の実践、 リハビリ ・臨床遺伝の知識 ・診療技術の習得 ・臨床神経生理検査の 知識 ・施行技術の習得	各1～3 名	1～2 年

(3) コースの実績

大阪大学脳神経内科においては研修医一人あたり年間 100 例以上の症例経験が見込まれ、大阪大学関連病院においても同程度あるいはそれ以上の症例経験が見込まれる。いずれも専門医取得に必要な各分野別症例数は充足可能である。

(4) コースの指導状況

大阪大学脳神経内科には神経疾患各領域の専門家が配置されており、神経内科全般にわたる専門的診断・治療の研修が可能である。その他のほとんどの病院では神経内科あるいは脳卒中専門医が2名以上配置されている。



(5) 専門医の取得等

学会等名	日本神経学会
資格名	神経内科専門医
資格要件	臨床研修 6 年、学会会員歴 3 年、教育施設等での研修 3 年、認定内科医必要

学会等名	日本脳卒中学会
資格名	脳卒中専門医
資格要件	学会会員歴 3 年、学会教育病院での研修 3 年、神経内科・内科・リハビリ・老年医学等の専門医必要

学会等名	日本リハビリテーション医学会
資格名	リハビリテーション科専門医
資格要件	臨床経験 5 年、学会会員歴 3 年、研修施設での研修 3 年

学会等名	日本臨床神経生理学会
資格名	臨床神経生理学会認定医
資格要件	臨床経験 5 年、神経生理検査に 3 年従事、学会会員歴 3 年、認定施設での研修 1 年

学会等名	日本人類遺伝学会
資格名	臨床遺伝専門医
資格要件	学会会員歴 3 年、認定施設での研修 3 年、基本領域学会の専門医必要

学会等名	日本てんかん学会
資格名	てんかん専門医
資格要件	臨床研修 5 年、てんかん学会会員歴 3 年、認定研修施設等での研修 3 年

学会等名	日本認知症学会
資格名	認知症学会専門医



問い合わせ先

■ 大阪大学医学部附属病院 脳神経内科

担当者 池中 建介 ✉ ikenaka@neurol.med.osaka-u.ac.jp

診療科ホームページ <https://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/neurol/myweb6/index.html>